

本文書の目的の概要

世界作業療法士連盟(WFOT)は、社会への参加とインクルージョンのための事前準備として、ユニバーサルデザインの原則を尊重しサポートする。ユニバーサルデザインは、人間の多様性、社会のインクルージョンと平等性のための計画や設計への戦略的アプローチの一つである。これは、「すべての人々により利用可能な製品や環境のデザインであり、非常に大きな可能性がある。特殊化されたデザインや適応の必要がないということである」ⁱ

とるべきポジションについての声明

WFOT は、社会において差別の障壁を軽減する手段としてユニバーサルデザインを促進することを、全会員組織に対して奨励する。そしてこれは、ユニバーサルデザインにおける専門技術を求めるパートナーにとっての資源となる。

WFOT が主張するのは、原則としてのユニバーサルデザインが、環境、製品、交通機関、テクノロジーを構成する基盤となることであり、サービスや態度も同様である。

社会にとってのポジションの重要性についての声明

ユニバーサルデザインに対する世界的な関心の増大は、次の要因を基盤としている。

- 住民全体にとっての利益
- 寿命の延伸
- 生活機能障害をもちながら生活する若年人口の増大
- 人権と機会平等の重要性
- 障害、健康、環境間の関係
- ユニバーサルデザインを必要としたり、これをサポートする差別禁止法をもつ国々の増加

作業療法にとってのポジションと論点の重要性についての声明

作業療法士は、次の理由によりユニバーサルデザインの専門家としての知識と技能をもっている。

- 作業療法士は、インクルージョンと参加を最大化するための人と作業遂行と社会、文化、物理的環境の相互作用についてのエキスパートである。
- 作業療法士は作業的公正を促進する。
- 作業療法士は、参加とインクルージョンの障壁を軽減するためのパートナーとなる機関や人々と一緒に協働する。

i The principles of universal design Version 2.0 – 4/1/97. Bettye Rose Connell, Mike Jones, Ron Mace, Jim Mueller, AbirMullick, Elaine Ostrlff, Jon Sanford, Ed Steinfeld, Molly Story, and Gregg Vanderheiden.

Major funding provided by: The National Institute on Disability and Rehabilitation Research, U.S.Department of Education. Copyright 1997 NC State University, The Center for Universal Design